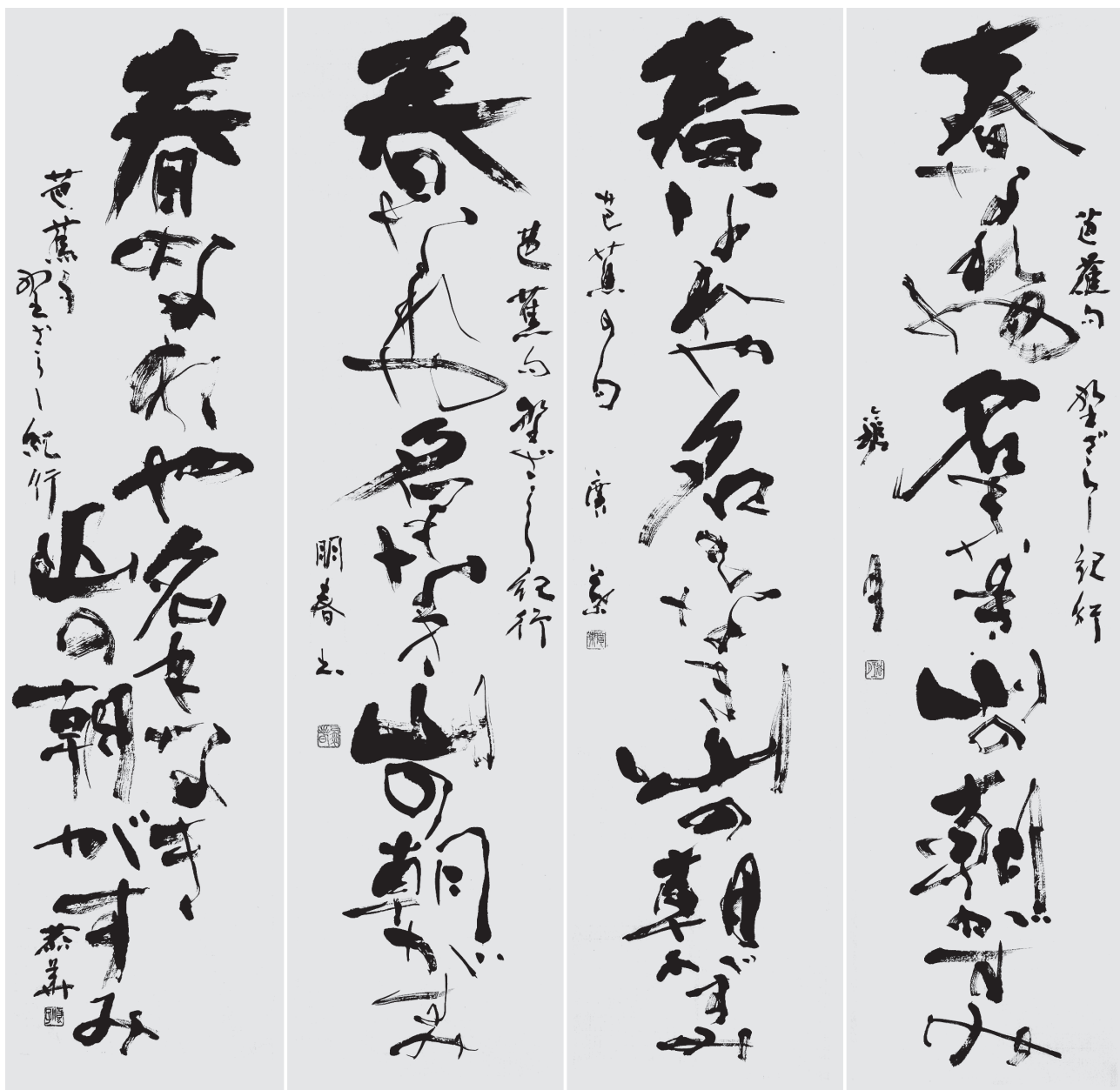


北澤翠香先生選評



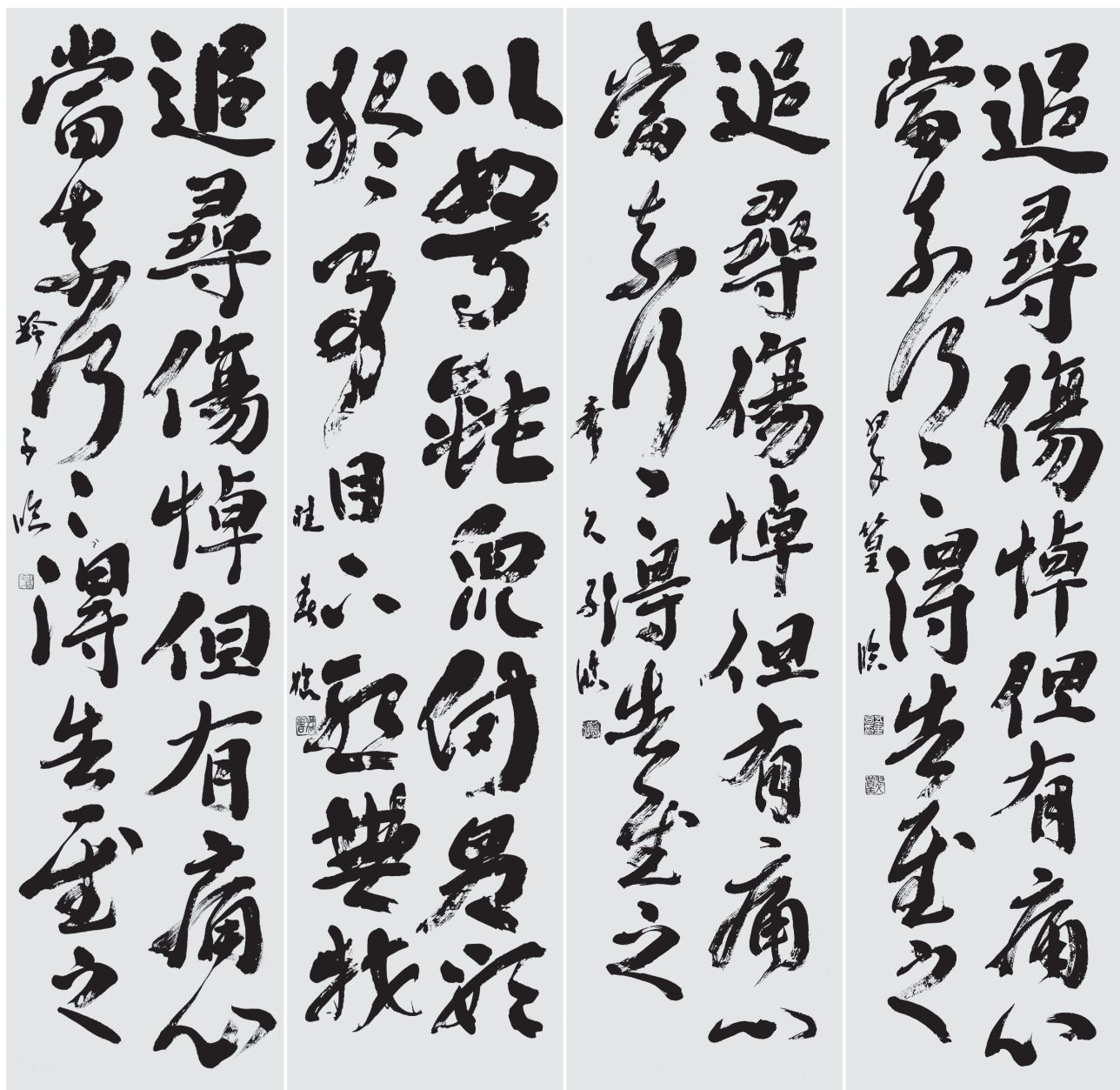
芳賀 瑠月 推選
粘りのある渴筆を力むことなく効果的に活かし多彩な線質で迷いがなく、颯爽と書き上げた絶妙な呼吸が、観る者の心を揺さぶる。力量の確かさを窺える逸品。

野田 廣葉 推選
落筆を高くし、大胆で思い切りがある筆致で、線に微妙な変化と、切れ味を活かした。筆者の個性が溢れるセンスが、観る者を魅了する。「も」の縦画一考を。

木下 朋春 推選
筆の握りを柔らかくし、ゆったりと温もりのある線。仮名の起筆のバネを利かせたリズムに乗った運筆は、漢字との調和も素晴らしい。ワルツを奏でている。

溝口 恭華 推選
二行の構成の工夫いいですね。逆筆で迷わず弾力を活かしグイグイと迫ってくる粘りのある線が、力強い作品となりました。下部の纏め方落款の位置に一考を。

加藤有鄰先生選評



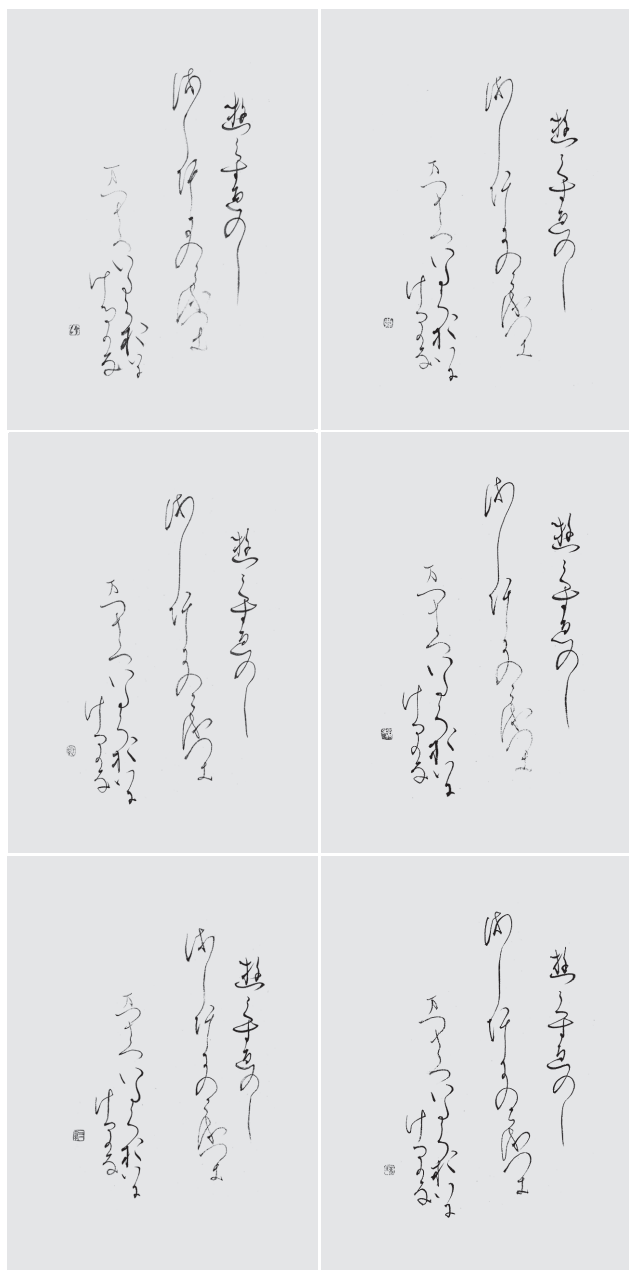
五十里 翠篁 推薦
墨量豊かに運腕大きく落筆も高く、澄み切った伸びやかな線を用い、堂々の作品です。原帖を良く理解し、形体やリズムの捉え方が宜しい。

早川 希久子 推薦
筆を柔らかに握り、適度に線の強さを織り交せて品格高い作品としました。余白が美しく全体を響かせています。墨量を今一つのせたいところです。

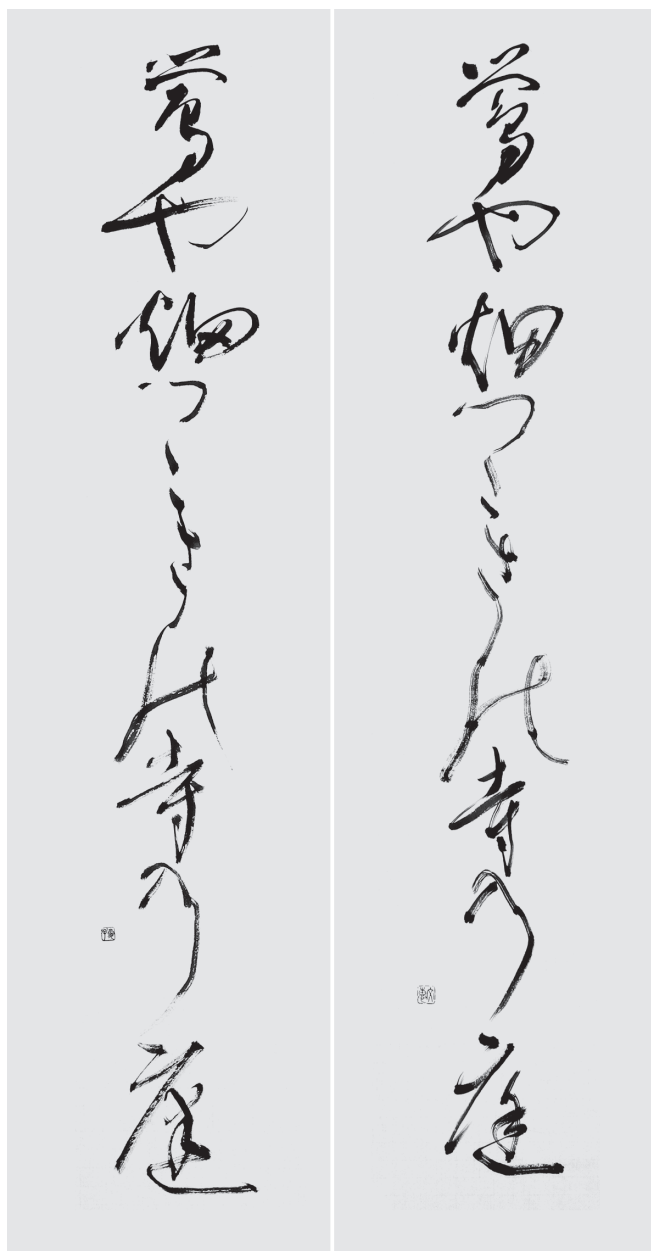
高堂 桂春 推薦
木簡臨書。堂々として意志的であり、線に余裕と自信が窺える作品です。渴筆部も柔らかに運筆しており、線から線への展開とリズムが良い。

岡野 玲子 推薦
長鋒を駆使しているながら穏やかで緩やかに線を運び、減張のある線を用いて情趣溢れる魅力的な作としました。熟練の成果が出ています。

赤富士北祭先生選評



露崎桂子先生選評



今村健一郎 準七
反復の臨書の成果
と思うが、浮沈を
自在に取り入れた
ダイナミックな動
きは香紙切のそれ
である。御本人の
創作作品も見事だ
が、背景にはこの
ことがあると思う。

日浅尚子 準五
古筆を拡大コピー
されているのでし
ょうか。丁寧な観
察から、ポイント
を抑えた連筆姿勢
は好ましい。切れ
味がある書きぶり
もよい。

富田翠心 四段
ほどよく立った筆
鋒の開閉が自然で、
筆力ある線で書か
れている。特に渴
筆あたりから古筆
の味わいがよく表
現され充実した作
となった。

霜島卯水 師範
行の揺れも的確に
読み取り、筆の弾
力を効かせながら
引いた伸びやかな
線が紙面に舞う。
緩急の変化が更に
加わると創作に活
かせると思う。

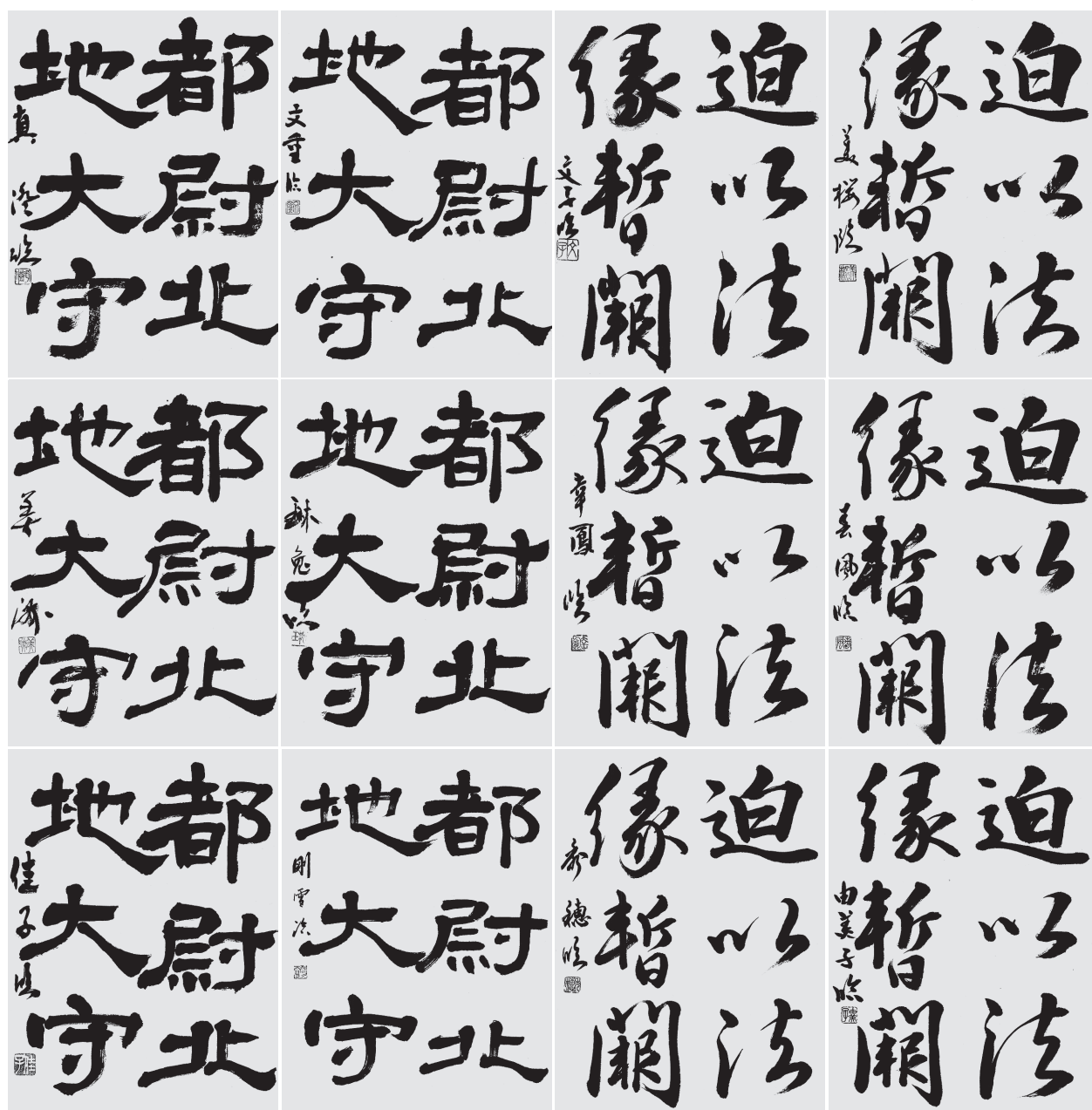
堀山裕子 師範
香紙切がもつ直筆
で瑞々しい線を大
切にして、しっと
りとした情緒のな
かにほどよい起伏
がある。終句の太
細の変化も理にか
なっている。

西野智珠 準八
古筆を丁寧に読み
取り、中鋒の線を
しつかり表現して
いる。転折も大切
にゆつたりとした
動きは見事なので、
これを創作に活か
してほしい。

滝本愛子 推選
やや濃墨ながら、勢いのあ
る運筆でメリハリのある作
になりました。文字の大小
の変化もあり、作者のリズ
ムが良く感じられます。最
後の「庭」はやや小さめに。

工藤文恵 推選
手慣れた書きぶりで、安定
感があります。迷いのない
筆致が流れに乗り、文字の
繋がりも良く、心地良さを
感じる作ですが、「能」はも
う少し滑らかに。

葛西玄涛先生選評



眞田美桜 師範
優しくゆつくりと書かれた線が多くて、心が安らぎます。切れ味鋭い細線が、豊かな変化となつて、強い主張を生んだ。どちらの線も大切です。

中村文子 七段
沈着した線が、どつしりと安定した作品に効果的に働いた。重厚な線でも爽快な動きで書かれています。空海の迫力を丁寧に再現した感がある。

早川文重 師範
きりつとした直線が、それぞれの文字の安定度を高めることになった。呼吸を長めにゆったり引かれた線は伸びやかで、波礫に好影響となった。

齊藤真澄 八段
激しく力強く線を引いていて、心に響いてきます。他を圧倒するような空気の中に洪めの優しい渴筆があるので、強弱の差のある感動が起きる。

村上春風 師範
強く太い線が主力となり、堂々とした作品です。渴筆の軽妙さが加わり、激しい変化のある作品となった。この変化を保ちながらも完成度が高い。

葉真寺幸鳳 四段
適切な文字内の余白と字間の余白が、作品を明るくしました。筆がほぼ垂直に立てられ、動きが柔らかいので、細線がきりりと引き締まっています。

森屋琳兎 師範
ふくよかな線であつても蔵鋒から強く線が引かれていて、充実しています。文字造形は、原本から点画の特徴を見抜いて正確に表現しています。

山口美洲 六段
横長の字形を紙面ぎりぎりに広げて、字間を多めにとり、見事な作品に仕上げた。大きな広がりを見せる澄んだ線と相乗効果で隸書の神髄になった。

中村由美子 準八
澄明な線から強い印象を受ける。細線でも同様な筆運びは、高い技術の表れだ。画数の少ない文字で顕著なので、今後の作品に生かして欲しい。

後田秀穂 二段
力を抜いて自然な流れで運筆されています。文字の大小も自然で、透明度の高い清々しさがいっぱいの、心が洗われる作品。これからの感動を。

山口剛雪 八段
文字は小さめに、線は繊細に、余白は広めにし、品格高く仕上げています。上位の段らしい完成度で、作品制作の方向の一つとしてのお手本だ。

小浜佳子 準六
全ての線に気合を入れて、強く書かれています。この気合が紙面全体から鑑賞者に伝わるように線を鍛える練習をたくさんされているのでしょう。